

賞	ことば
東井義雄賞	語るための人生じゃない、生きるための人生だ
東井義雄賞	私は幸せでした。 一生懸命生きました。
東井義雄賞	お腹がすくって、幸せなことだったんだね。お母さん、今日のご飯は美味しいね。
東井義雄賞	君には出来ないことがある。でも、出来ないことの何倍も、人より気付けることがある。だから、胸を張っていたらいいんだ。
東井義雄賞	子は親を選べんで生まれくるっていうのは嘘じゃっど。大事な命を与えてくれた親を選ばんで生まれてくるはずは、なか。
秀作	産んでくれてありがとう。いい子に育ててくれてありがとう。
秀作	「君ならできる」ではなく、「君にしかできない」って言われた方がうれしいはず。ぜひ使ってみて。
秀作	貧乏のどこが恥ずかしいだ、本当に勉強がしたかったら、定時制高校で勉強できる。親のせいにして甘ったれるんじゃない
秀作	あなたの大切な命を私の中に取り込ませていただきます。
秀作	出来ない事はたくさんあるけれど、出来る事もたくさんあるんだよ。
秀作	今死んだら昨日まで耐えとった自分が可哀想やるが！
秀作	夢に向かって努力できるのは当たり前ではなく、とても恵まれたことである。
秀作	花は咲く時を知って咲く
秀作	ピンと張った糸は切れるよ。所どころ緩ませないとね。
秀作	いつも寝る前に引き出しや周りを片付けて寝るの。だって明日目が覚めないかも知れないじゃない。うふふ。
特別賞	親からもらったたったひとつの「いのち」です。いのちの終わる順番は決して間違えてはいけません。そんなことは許しません。
特別賞	凡人は、欲望という名の電車に乗り、挫折という名の電車に乗り換え、いのちの尊さを身に沁みて感じる終着駅にたどりつく。
特別賞	普通のこと普通でできるっていうことなんですね、これが一番嬉しいんですよ。
特別賞	のんちゃんとはあちゃんの生まれ変わりなんや。ばあちゃんが残していったじいちゃんの宝。ばあちゃんより長く生きよ。
特別賞	あなたを二回、生んだと思えばいいの。
特別賞	鈍行もプライド持って走っている…。トップよりピリのゴールに湧く拍手は、喝采である。「自信」を持って君はサムライジャパンだ！

賞	ことば
特別賞	死にたくないのに死んだ人がいる、生きているのに死んでる人がいる
特別賞	今、いのちがあなたを生きている。
特別賞	力尽き 涙尽き 希望尽き それでも生きてるのが嬉しい。それがいのちだ。
特別賞	妻 みごもるといふ。あめつちのめぐみを かんず。わが子 みごもるといふ。神々しきぞ。
佳作	まず、何をあいても、自分を愛すること。それは、いのちを愛することになる。絶対に、自らいのちを絶ってはならない。
佳作	あなたの目の前の人生はあなたが背負うしかない。ただその後ろには手を添えてくれる家族がいる。
佳作	簡単に死ねなど言わんとして、あんた達を産むのにどんだけ痛い思いをして産んで、どれだけ大切に育ててきたか分かってんの！！
佳作	親と言う者は、何があっても子供を信じる。例え世間様がそっぽ向いても、私はあんたと向き合って生きて行く。
佳作	ありがとう...生まれてきてくれて本当にあ・り・が・と・う...
佳作	教師には、本物と偽物がいる。本物の教師とは、私のことを後回しにしないで、真正面から向き合ってくれる先生のこと！
佳作	すべての人がキラキラ輝く「いのちの光」を必ずもっている。
佳作	お帰り。今日もよく勉強しました。志望校に合格して一緒に春の桜を楽しみましょう。じいちゃんも頑張るぞ。
佳作	朝、夫婦が目をあく。おはよう今日もまた生かされて一日が始まる。
佳作	神様に選ばれたんだ。お前なら乗り越えられるって。ここで負けるか、でかい男になるチャンスにするか。お前が決めるんだ。
佳作	「いーや・いんとぅく・かみーさ。」(沖縄方言で「あなたは、きっと見守られます。」という意味である。)
佳作	教えられる生徒の立場から、教える側の教師を見つめ直す謙虚さと努力が教師には必要だ。
佳作	憂き事のなほこの上に積もれかし 限りある身の力ためさん
佳作	ダウン症ですね。でも、この子は私の子どもです。だから、大丈夫です。
佳作	“いのち”をもらえただけでも本当に本当に幸せなことなんだよ。嬉しいことも悲しいこともすべての感情を大切に生きなさい。
佳作	おじいちゃんは人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人だった。それが人間にとって大事なことなんだよ。
佳作	連れ合いに「ありがとう」と言いなさい。心の中だけではなしに、とにかく口に出して、「ありがとう」と言いなさい。

賞	ことば
佳作	本当に死にたいと思ってる人は、死にたいなんて言わない。死にたいと言う人は、誰かに助けを求めている人。
佳作	置かれた場所に咲くのです。自分だけの花を咲かせなさい。
佳作	あなたが人に優しくできるのは、その辛さを知っているからだね。
佳作	この川の先には青い海が広がっているのよ。これから辛いことがあっても、綺麗で大きな海のような心を忘れないようにしないよ。
佳作	もう、ゆっくりしてくださいね。
佳作	生きて帰ろう。あーちゃんまだ五年しか生きてないから。もっと、お母さんと一緒にいたいから。
佳作	「量」はいつか「質」に変わるから、努力を怠るな。
佳作	仮面は仮面。長続きはしない。自分があるがままに見せて歩めば、楽に生きられる。仮面かぶったままで一生終わっちゃいかん
佳作	言われたことを、叱られた、意地悪と取るか、注意された、有り難いと取るかで、その人自身の伸び方は全然違って来るんだよ。
佳作	人には人生を変える出会いが必ずある。「その人」に出会った時「この人だ」と分かる感性が大事だ。感性を磨いてください。
佳作	小さな命なんてモノはこの世界に存在しない。人の命も動物の命も何も変わらない。どんな命も平等に重く尊く、そして愛しいのだ。
佳作	生きている
佳作	今はね、癌ちゃんに感謝してるんよ。周りの人たちの優しさを実感できたからね。目が覚めると今日も生かされていると思う。
佳作	人生は自転車をこぐのに似ている。最初はペダルも重いだろう。だがこぎ続ければ清々しい風を感じる事ができるはずだ
佳作	百回の失敗よりもたった一回のあきらめが夢を崩す。
佳作	目の前のことに一生懸命になられへん人に、夢を語る資格なんてないねんで。
佳作	自分にスポットライトを向ける目立ちたがり屋ではなく、地味で目立たなくても、裸電球のように周囲を照らす明るい人になれ。
佳作	生きているからこそ辛いことはあるが、生きていないと楽しいこともない。
佳作	障害があっても、ご両親の育て方次第で本人は意外と幸せに感じている場合が多いようですから。
佳作	笑顔、耐えること。これぞすべての扉を開く。
佳作	頭だけを使わないで、やさしさを使いなさい。

賞	ことば
佳作	心配しないで子供を産みなさい。手伝いに行っておけるから。子供は授かりものだ。七人兄弟の末っ子だってねえあんたは。
佳作	この山からは、この山ならではの視界が望め、あの山からは、あの山ならではの視界が開ける。
佳作	過ぎたことは忘れなさい。あなたは自由です。
佳作	おやおもう、ここにまさる、おやごころ、きょうのおとずれなんとときくらん。
佳作	いつも洗濯した服を着せてもらって君の母さんは偉い。先生はそんな母さんを尊敬しとるよ。いいお母さんもって幸せじゃねえ。
佳作	人も木も失ってからその大切さに気づくのでは遅いんだよ。刈り取るばかりではダメ。人も木も育てなければ。
佳作	だいじょうぶ、だいじょうぶ
佳作	死んでも何も変わらない。それより今までの人生を一回、これからの人生をもう一回と考えてみないか。
佳作	「はい、洗濯物。今日も体調よさそうですね」と言ったけど、医師から余命僅かと聞き、涙を堪えながら大ウソをついていました。
佳作	人間は、生きなあかんのや。人間は、食っていかなあかんのや
佳作	産声はこの世で一番はじめに発する素敵な素敵な言葉だよ
佳作	あんたよく「死にたい」って言うけど、死にたくないって思っても死んでしまう人もいるんやで。そのことよく考えなさい。
佳作	「命」という漢字は伝達の意の「口」とお告げという意の「令」を表す。つまり命は天から授かった生きる定めなのだ。
佳作	病人になってからは、毎朝お日様が上ってくれるだけでも有り難いんだよ。神様は今日も大事な一日をくれたんだってね。
佳作	あなたは合の子じゃなくて御両親の「愛の子」なのよ！
佳作	いいところもだめなところも全部あなただから、あなた自身がまず好きになってあげないとね。
佳作	神様がいつも見ているよ。二度としないこと。
佳作	人生は、心に地下足袋を履いて歩いて行け
佳作	目が見えてなくても必死におっぱいを探して口を開けているね。ちゃんとお母さんってわかっているんだよ
佳作	俺が死んでも帰ってくるなよ。じいちゃんの孫なら、夢を叶えてから帰ってこい。
佳作	お誕生日、おめでとう。今日はお母さんに感謝する日だよ

賞	ことば
佳作	あなたが無駄にした今日は、昨日亡くなった人があれほど生きていと思った明日。
佳作	叱咤は期待の裏返し。無視には期待も希望もない。
佳作	変えられないものを受け入れる静かな心と、変えられるものを変えていく勇氣と、その両方を見分ける知恵を身につける事の大切さ
佳作	心で見なくっては、ものは、ちゃんと見えないんだよ。肝腎なことは、目に見えない。
佳作	母さんね、あんたのためならなんでもする。あんたが何より大切なのよ...
佳作	人間は何で出来ているか、わかるか？失敗から出来ているんだ。こればかりは原始時代から変わらない。失敗が人間を作るんだ。
佳作	お日さんも雨も空気も、ただやで。ありがたいこっちゃ。
佳作	お誕生日おめでとう。今日はお父さんの誕生日。いなくなって初めての誕生日。でも私は言うよ。五十九歳おめでとう。
佳作	この歳になったらありがとうしかないんだよ。
佳作	七転び八起きって言いますよね。もし、今回の事が一度目なら、あと六回も転べるんだよ。
佳作	人の幸せは、命の長さではないのです
佳作	どの子も無条件に愛されてほしい...悲しい時を過ごさなければならなかった子は、自分を愛せない子になります。
佳作	生きる意味？俺にもわからん
佳作	自分は親を越えようと努力してきた。君はこのお父さんを越えないといけないよ。続いていく命の中で世の中は進化していくんだよ。
佳作	ママ、いもむしはそのまま生きていれば、大きくなったら綺麗な蝶々になるんだよ
佳作	希望に生きる者は、常に若い。